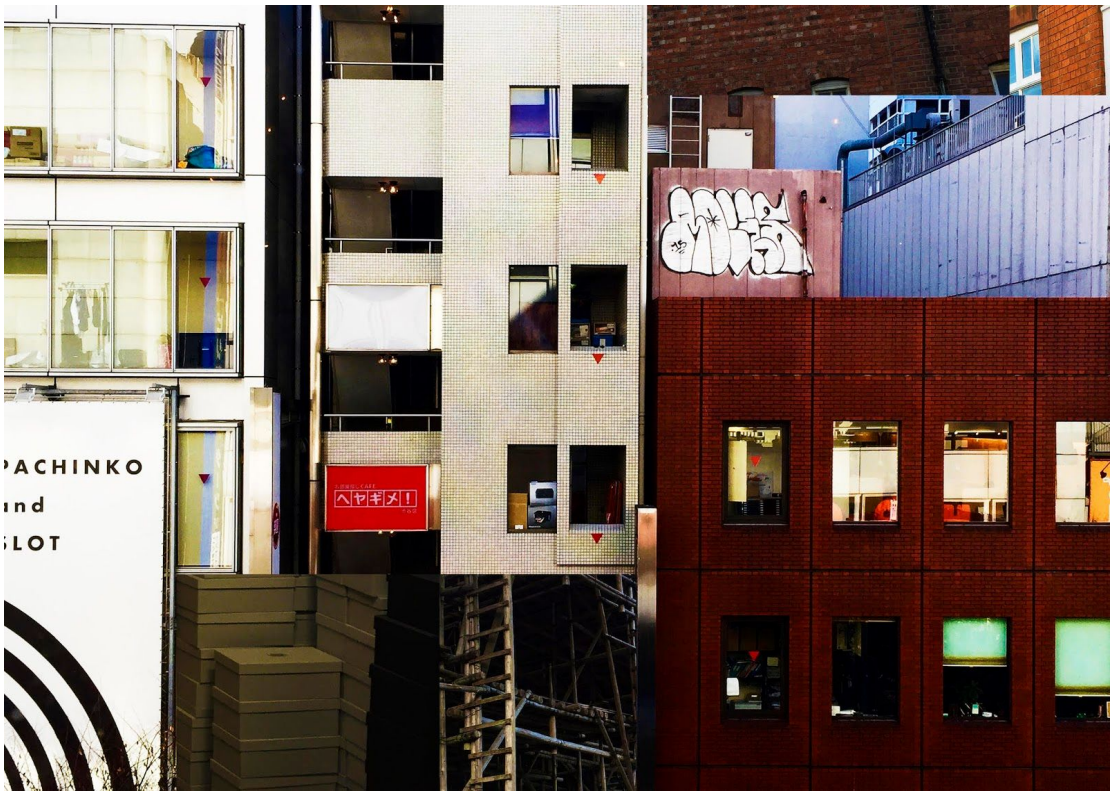
KANA KAWANISHI GALLERY

安瀬英雄個展『Synchronicity』

■会　　期　　2019年3月16日（土）～ 2019年4月17日（水）
■開　　廊　　火～金：13:00～20:00｜土：12:00～19:00（日・月・祝　休廊）
※3月30日（土）は短縮営業（12:00～17:00）
■会　　場　　KANA KAWANISHI GALLERY
〒135-0021 東京都江東区白河4-7-6 白河和楽ビル1F/ TEL 03-5843-9128

▼オープニングレセプション
2019年3月16日（土）18:00～20:00



© Hideo Anze, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

KANA KAWANISHI GALLERYは、2019年3月16日（土曜日）より安瀬英雄個展『Synchronicity』を開催いたします。3年振りの個展となる本展では、代表作〈Stripe (50Hz)〉、〈RGB〉各シリーズの新作の他、〈I and Others〉シリーズの《One Day》を初めて発表いたします。

*　*　*

〒135-0021　東京都江東区白河4-7-6　KANA KAWANISHI GALLERY
gallery@kanakawanishi.com　｜　TEL: 03-5843-9128　｜　広報；折笠（おりかさ）　展示企画：河西（かわにし）

KANA KAWANISHI GALLERY

Stripe (50Hz)　2018/12/07　20:27:54　Shibuya-ku
2018 | digital type c print (frontier) | 297 × 210 mm
© Hideo Anze, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

⟨Stripe (50Hz)⟩ シリーズは、東日本大震災直後の計画停電や節電における東京の街並みに大きなショックを受けたことから始まった作品で、東京電力（商用周波数50Hz範囲内）の街を照らす蛍光灯の光を日々スマートフォンで収集した画像は、光の波の干渉が引き起こすエラーとして知られる、縦縞のフリッカー現象を集めたものです。日々記録を続ける行為は忘れることのできない記憶の記録となります。本シリーズは、2016年に村上春樹小説／英訳版の表紙装丁[1]に起用された他、2018年には大英博物館に収蔵されるなど、海外で著しく評価を高めています。

[1] *Wind/Pinball*, Haruki Murakami, translated by Ted Goossen, 2016, Penguin Random House

KANA KAWANISHI GALLERY

La_Gioconda.jpg 01
from the series *RGB*
2016 | acrylic on canvas | 770 × 530 mm
© Hideo Anze, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

Mona_Lisa,_by_Leonardo_da_Vinci,_from_C2RMF_retouched.jpg 02
from the series *RGB*
2016 | acrylic on canvas | 770 × 530 mm
© Hideo Anze, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

〈RGB〉シリーズは、カロタイプ写真の発明者であるウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットが「光で絵を描く」という自身の技術を、フォトグラフではなく「フォトジェニックドローイング」と呼んでいた事実にインスピレーションを受け、現代における写真を独自の解釈で表現した作品です。世界的にいわゆる「名画」として共通認識されている絵画作品の画像をインターネット上からいくつか入手し、「オリジナル」とされる作品と同寸法のキャンバス地に、画像の明るさの分布度合い数値で表したヒストグラムを光の描写として見立てることで制作された絵画作品です。

＊上記図版は、サンダースコレクション（オランダ）収蔵作品となった参考画像ですが、本展では「Vincent Willem van Gogh」にちなんだ新作を発表予定です。

〒135-0021　東京都江東区白河4-7-6　KANA KAWANISHI GALLERY
gallery@kanakawanishi.com　|　TEL: 03-5843-9128　|　広報；折笠（おりかさ）　展示企画：河西（かわにし）

KANA KAWANISHI GALLERY

One Day, from the series *I and Others*
2019 | digital type c print (frontier) | © Hideo Anze, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

また、本展で初めて作品として発表される〈I and Others〉シリーズの《One Day》は、2011年頃から日常的に撮影されている写真と同じ日に撮影されたインターネット上に無数に散らばる写真とをコラージュしており、アノニマスな複数の撮影者の存在の重ね合わせを、ひとつの時間軸で貫ぬいています。

*　*　*

複数のシリーズを毎日同時並行させながら、淡々と発表され続けるコンセプチュアルな安瀬作品は、海外での評価を飛躍的に高めています。清澄白河スペースでは初めて個展形式で発表する本展の貴重な機会を、是非お見逃しなくご高覧いただけましたら幸いです。

■アーティストプロフィール

安瀬英雄（あんぜ・ひでお）
東京生まれ。主な個展に『姿なき存在の形』（KANA KAWANISHI GALLERY／東京／2016年）、『RED 2014 365』（SUNDAY／東京／2016年）など。主なグループ展に『Body Politics: What Defines the Body?』（KANA KAWANISHI PHOTOGRAPHY／東京／2018年）、『記録と記憶｜transcripts/memories』（KANA KAWANISHI GALLERY／東京／2015年）など。2016年、作家自身初となる作品集『RED 2014 365』がTRADEMARK PUBLISHING（ドイツ）より刊行。主な作品収蔵に大英博物館（イギリス）、サンダース・コレクション（オランダ）など。

〒135-0021　東京都江東区白河4-7-6　KANA KAWANISHI GALLERY
gallery@kanakawanishi.com　｜　TEL: 03-5843-9128　｜　広報；折笠（おりかさ）　展示企画：河西（かわにし）